

よろこび

日蓮宗 観聖会

本山 妙顕寺
長春山 本誓寺

『日蓮聖人との対話』二 (感応対談)

貫首 齊藤 日軌

(問者) 日蓮大聖人様、今私達の最大の課題は中国武漢発コロナウイルスの疫病です。このウイルスで多くの人が罹患し世界全体では七四二万六二八人で、亡くなった人は四一八〇五二人となつています。日本では一万七千三百三十二人死者は九百三十二人となつています。歴史上未曾有の厄災です。これは私たち人間が多量の罪を犯し、天につばする行いをした為めなのかと大いに心を痛めています。また中国の細菌兵器が研究所から発生したのかとも言われていますが、この厄災を逃れるにはどうしたら善いかわからず教えて下さい。

(日蓮聖人) ものごとの発生には因果と言います。原因と結果が必ずあります。コロナウイルスの発生により、さまざまなものが苦しんでいますが、一方人々は不要な外出を控え、夜の盛り場にもあまり出かけず、以前より清らかな生活をしているようである。人々の心と行いの改善により、地球環境も改善してきたようである。

この地球環境は公害、農業、森林伐採、放射能汚染により空気、水、大地、食物を汚染された。また二酸化炭素の増大による温度の上昇、台風増加により人類の生存に適さなくなつてきている。それはあらゆる動植物の存続の危機でもある。

そういう意味では、コロナウイルスは天罰



仏罰ではなく、地球の自浄作用の一つと言えよう。

(問者) 大聖人様、今地球の自浄作用と言われましたが、それは、災害は天罰ではなく、まるで生き物のような地球が、生命バランスを取るため、また公害などで病巣と化した所を除くため、地震や風水害を起こしていると言ふように聞こえるのですか？

(日蓮聖人) その通り、地球は、大宇宙本仏生命の一つの顕れであり、本仏の身体、法身であるから、自律的に均衡を取ろうとするのである。大宇宙は地球を含めた一切の星辰その上に存在する動植物をその心から生み出し、その全てをまた心に納めている。これを一念三千という。

(問者) それではまるで、宇宙は全ての命を総合したようなものですね。

(日蓮聖人) 本仏とは大宇宙生命体であり、その方々の父母であらう。それならばその子供と言えよう。自分の産みの親、育ててくれた親を大切にしない自分たちだけが幸福にはなれない。心からその心も御本仏と共有している。故に善きものからまた一念三千の理によって善き想いから善きものが顕れよ、悪しき想いから悪しきものが顕れるのである。汝等は武器を造ったり、輸出などしてはならぬ。まして細菌を武器にするなど言語道断である。

日蓮聖人のお言葉

本仏とは大宇宙生命体であり、その方々の父母であらう。それならばその子供と言えよう。自分の産みの親、育ててくれた親を大切にしない自分たちだけが幸福にはなれないであらう。

